

## 2026 年度(公社)日本地すべり学会関西支部 「技術研究集会」開催および講演者の募集のお知らせ

2026 年度も関西支部では「技術研究集会」を開催し、若手(リアルタイムで自ら新しい技術、研究に取り組んでいる方と定義)による最先端の技術開発の現場や苦闘を紹介します。つきましては、関西支部管内はもちろんのこと、広く全国から発表者を募集いたします。ハイブリッド開催のため、オンラインでもご発表いただけます。積極的なお申込みをお待ちしております。

技術研究集会開催の概要、および、発表のお申込み要領は下記のとおりです。ご参加のお申込みは、仮プログラムの確定後(5 月下旬ごろ)を予定しております。最新情報やこれまでの開催プログラムは関西支部ホームページ(<https://japan.landslide-soc.org/branch/kansai/symposium.html>)でご確認ください。

### <開催概要>

- ・ 日時 2026 年 6 月 25 日(木) 10:00 ごろ～17:00 ごろ  
午前「萌芽的技術研究の部」、午後「実践的技術研究の部」(詳細は裏面参照)として実施、「実践的技術研究の部」のみ建設系 CPD プログラムに申請予定
- ・ 場所 大阪市内または京都市近郊を予定
- ・ 形式 対面(上限 35 名程度)とオンライン(上限 270 名程度)のハイブリッド
- ・ 参加費 対面・オンラインともに無料
- ・ 基調講演 吉富健一氏(広島大学)を予定

#### 吉富健一氏プロフィール

広島大学大学院人間社会科学研究科(自然システム教育学)准教授。地球科学・岩石・鉱物・気象・天文・防災などの分野において、ICT を用いて学習の参考になる教材を開発。自身のホームページ「Web で地学」(<http://1604-016.a.hiroshima-u.ac.jp/index.html>)で初学者から専門家までが学べるさまざまなウェブ上のツールを公開し、地学および防災情報の理解促進や興味喚起を図る取り組みを実施している。

### <発表募集>

「萌芽的技術研究の部」、「実践的技術研究の部」のどちらの部においても、「話題提供」「技術報告」の両枠で広くご発表いただける方を募集します。募集件数は全て合わせて 6～8 件です(お申込みいただいた方のご希望の枠で変動します)。ご発表を希望されます方は、下記のフォームに必要事項を記載の上、doi.issei.5e@kyoto-u.ac.jp へ 2026 年 4 月 30 日(木)までにお送りください(旅費の一部の補助を希望される場合はあわせてご連絡ください(発表される学生の方に限ります))。応募者多数の場合は、ご発表をお断りさせていただく場合がありますので、ご了承ください。

-----お申し込みフォーム-----

お名前(ご所属):

仮の発表タイトル:

ご希望の枠(希望する枠すべてに○を付けてください):

( ) 「萌芽的技術研究の部」の「話題提供」(講演 15 分程度+質疑+全体討論)

( ) 「萌芽的技術研究の部」の「技術報告」(講演 7～10 分+質疑+全体討論)

( ) 「実践的技術研究の部」の「話題提供」(講演 30 分程度+質疑+全体討論)

( ) 「実践的技術研究の部」の「技術報告」(講演 15～20 分+質疑+全体討論)

参加形態(いずれかを選んでください): 対面 ・ オンライン ・ どちらでも ・ 未定

ご要望があれば:

※ 「実践的技術研究の部」では PDF の要旨集を作成しています。講演スライドの縮小版(一部でも可)と A4 で 1 枚分の要旨について開催日 1 週間前までに提出をお願いしています。「萌芽的技術研究の部」では特に必要ありません。

#### 萌芽的技術研究の部:

この部は若手技術者・研究者の成長を目的としたもので、若手が業務や研究で行っている新しい取り組みを気軽に発表し、意見交換することにより、気軽に技術的なコミュニケーションを楽しむことを目的としております。このため、未完成の技術やオフレコのものも歓迎し、気軽に意見を言い合える場とし、次につながる若手の知的な好奇心を醸成したいと思います。是非、多くの若手および、若手と前向きなコミュニケーションをされる方の参加を期待しております。特に優秀な発表をおこなった方を、関西支部運営委員による厳正な審査の上、「優秀発表賞」として表彰します。

#### 実践的技術研究の部:

この部では自ら手を動かし業務や技術開発、研究を遂行している方によって実践されている取り組みを紹介していただきます。粗削りな部分や課題はあるものの、ある程度完成に近づいている技術や研究について、さらなる発展も含めた建設的な議論が生まれることを期待しております。